

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】令和5年11月22日(2023.11.22)

【国際公開番号】WO2023/120158  
 【出願番号】特願2023-540468(P2023-540468)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 37/02(2006.01)**

**B 3 2 B 7/023(2019.01)**

**G 0 2 B 1/18(2015.01)**

**G 0 2 B 1/14(2015.01)**

10

【F I】

B 3 2 B 37/02

B 3 2 B 7/023

G 0 2 B 1/18

G 0 2 B 1/14

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月10日(2023.7.10)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロールトゥロール方式で透明基材フィルムを搬送しながら、当該透明基材フィルムの厚さ方向一方向側に防汚層を形成する、防汚層形成工程と、

前記防汚層形成工程より前に、または、前記防汚層形成工程後において前記防汚層付きの前記透明基材フィルムを巻き取るより前に、前記透明基材フィルムの厚さ方向他方向側に保護フィルムを貼り合わせる、貼合せ工程とを含む、防汚層付き光学フィルムの製造方法。

30

【請求項2】

透明基材フィルムと、当該透明基材フィルムの片面に貼り合わされた保護フィルムとを備える複合フィルムをロールトゥロールで搬送しながら、前記透明基材フィルムにおける前記保護フィルムとは反対側に防汚層を形成する、防汚層形成工程を含む、防汚層付き光学フィルムの製造方法。

【請求項3】

前記防汚層形成工程では、ドライコーティング法によって前記防汚層を形成する、請求項1または2に記載の防汚層付き光学フィルムの製造方法。

40

【請求項4】

前記保護フィルムの厚さ方向他方向の表面自由エネルギーが45mN/m以下である、請求項1または2に記載の防汚層付き光学フィルムの製造方法。

【請求項5】

前記防汚層が、6nm以上の厚さを有する、請求項1または2に記載の防汚層付き光学フィルムの製造方法。

【請求項6】

透明基材フィルムと、

前記透明基材フィルムの厚さ方向一方向側に配置された防汚層であって、ドライコーティング膜である防汚層と、

50

前記透明基材フィルムの厚さ方向他方面側に配置された保護フィルムとを備える、防汚層付き光学フィルム。

【請求項 7】

前記防汚層が、6 nm以上の厚さを有する、請求項 6 に記載の防汚層付き光学フィルム。

【請求項 8】

前記保護フィルムの厚さ方向他方面の表面自由エネルギーが 45 mN/m以下である、請求項 6 または 7 に記載の防汚層付き光学フィルム。

10

20

30

40

50